

岩合光昭 写真展

PANTANAL

パンタナール —世界遺産の大湿原—
清流がつむぐ動物たちの聖域

展覧会名： 岩合光昭写真展 PANTANAL
パンタナール —世界遺産の大湿原— 清流がつむぐ動物たちの聖域

会 期： 2024年8月10日[土]～9月29日[日]

会 場： 佐野美術館

開館時間： 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)

休 館 日： 木曜日

入 館 料： 一般・大学生1,300円 小・中・高校生650円 * 土曜日は小中学生無料

主 催： 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会、Daiichi-TV

後 援： 静岡県教育委員会

協 賛： 伊豆箱根鉄道株式会社

企画制作： クレヴィス

パンタナールに生まれ、パンタナールに育ち、パンタナールに還る。

佐野美術館は、2024年8月10日[土]から9月29日[日]の期間、「岩合光昭写真展 PANTANAL パンタナール —世界遺産の大湿原— 清流がつむぐ動物たちの聖域」を開催します。

パンタナールは、南米大陸中央部に位置する世界最大級の熱帯湿地です。大部分はブラジル、一部ボリビアとパラグアイにまたがり、総面積は日本の本州ほど。雨季には川が氾濫し土地の大半が水没します。

絶滅の危機にあるスマレコンゴウインコほか約1000種の鳥類、約300種の哺乳類、約480種の爬虫類、約400種の魚類、と多種多様な生き物が生息し、ブラジル側の広域が「パンタナール保全地域」として世界遺産に登録され、野生動物たちの聖域となっています。

パンタナールの豊かな自然に魅了された動物写真家・岩合光昭は、雨季と乾季でドラマチックな変化を見せるこの地を5回にわたり取材し撮影を続けました。

大湿原に注ぐ溪流で跳ねるピラプタンガ、乾季の水場に集まる魚を求めひしめくパラグアイカイマン、身の丈より大きいパラグアイカイマンをしとめ崖上にひき上げる南米の王者ジャガー、みごとなジャンプで俊敏に逃走するカピバラ、その頭に乗り安全に移動する鳥たち。

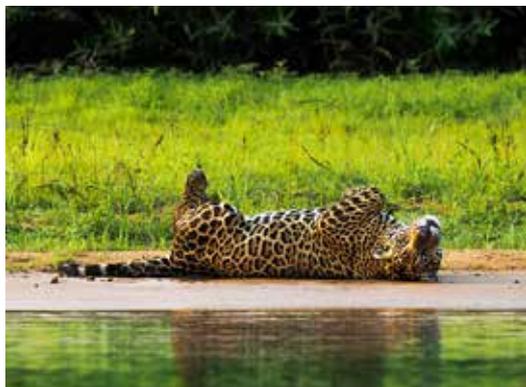
迫力ある約100点の作品により、パンタナールの清流がつむぐ生命の輝きを伝えます。

展覧会のイベント

◆岩合光昭さん来館記念イベント トーク&サイン会 8月17日[土]

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合、1～8の画像をデータでご提供できます。電話またはメールでご連絡ください。



1. ジャガー © Mitsuaki Iwago



2. ピラブタンガ © Mitsuaki Iwago

※本展紹介以外での使用、本展終了後の使用、二次利用はお断りします

※画像使用の際に、展覧会名、会期、会場、作品名とコピーライトを必ずご記載ください

※画像は全図で使用してください



3. スマレコンゴウインコ © Mitsuaki Iwago



4. バラグアイカイマン © Mitsuaki Iwago



5. カピバラとウシタイランチョウ © Mitsuaki Iwago



6. マザマジカ © Mitsuaki Iwago



7. フサオマキザル © Mitsuaki Iwago



8. アメリカバク © Mitsuaki Iwago



© Machi Iwago

岩合光昭 [いわごう みつあき]

1950年東京生まれ、動物写真家。野生動物の息吹を感じるその写真は、世界的に高く評価されている。半世紀以上続けているネコの撮影にも力を入れ、2012年、NHK BSP4K、NHK BS「岩合光昭の世界ネコ歩き」が放送開始。『どうぶつ家族』『ネコライオン』『かびばら』『こねこ』『パンタナール』『虎』『この素晴らしき世界』他、著書多数。2019年「ねことじいちゃん」、2021年「劇場版 岩合光昭の世界ネコ歩き あるがままに、水と大地のネコ家族」で映画監督をつとめる。

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 TEL 055-975-7278 FAX 055-973-1790

URL <https://sanobi.or.jp/> EMAIL koho@sanobi.or.jp